

神戸市北区内の水田生育状況及び病害虫発生状況について8月3日に調査しました結果を本紙にてご案内いたします。今後の水稻栽培管理にご活用ください。

1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	微	小	一部を除き、ほとんど見られません	斑点米カメムシは、調査当日の確認数は少ないものの、局所的に多発している圃場があります。防除を怠らないようにしましょう。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	微	並	わずかな発生がみられます。	
ヒメトビウンカ	微	並	わずかな発生がみられます。	
ツマグロヨコバイ	微	並	わずかな発生が見られます	
斑点米カメムシ	少	並	圃場内発生は少ないですが、畦畔に多く生息しております。	

※発生程度の小さい順に、無・微・少・中・多・甚（中以上で要防除）

2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	今後の栽培管理について
コシヒカリ キヌヒカリ	並	並	コシ・キヌ：穂ぞろい期～登熟期となり、斑点米カメムシが最も水稻に被害をもたらす時期です。適期に防除薬剤を散布し、被害を最小限に止めましょう。 例：穂ぞろい期にスタークル粒剤。
山田錦	並	並	生育調査の結果、草丈・茎数は平年並みでしたが、7月上旬の極端な天候不順や下旬の高温乾燥により、圃場によってバラつきが多いと思われます。 穂肥の時期となります。近年、出穂期は前進化しておりましたが、今年については平年並みで8月27、28日頃がピークと予測しております。

※出穂前から出穂後20日の間は、水を切らさないように注意しましょう。可能であれば間断灌水を行いましょう。

3 その他

8月初旬現在、トビイロウンカ（秋ウンカ）の発生は確認されていません。発生の確認及び多発による被害が懸念される場合は、早急にご案内いたします。

次回の調査予定日は、令和3年8月20日（金）です。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817

神戸市北区内の水田生育状況及び病害虫発生状況について7月12日に調査しました結果を本紙にてご案内いたします。今後の水稻栽培管理にご活用ください。

1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	無	並	ほとんど見られません	現在、病害虫の発生は少ないですが、梅雨明け後に、急速に増加する場合がありますのでご注意ください。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	微	並	わずかな発生がみられます。	
ヒメトビウンカ	微	並	わずかな発生がみられます。	
ツマグロヨコバイ	微	並	わずかな発生が見られます	
斑点米カメムシ	少	並	圃場内発生は少ないですが、畦畔に多く生息しております。	

※発生程度の小さい順に、無・微・少・中・多・甚（中以上で要防除）

2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	今後の栽培管理について
コシヒカリ キヌヒカリ	並～ やや高い	並	コシ・キヌ：畦畔部に、斑点米カメムシの発生を多く確認しております。畔草の刈取は出穂の2週間前までに行ってください。出穂期に畔草刈を行うとカメムシを本田に侵入させることになり、斑点米の原因となりますので注意してください。
山田錦	並～ やや高い	並	ヒノ・山田錦：長雨で深水状態が続き、根張りの弱い徒長した株が一部見受けられます。7月下旬までは、中干しを継続して根張りを促しましょう。梅雨明け後の高温乾燥で、大きなひび割れが発生しそうな場合は、可能であれば走水で調整しましょう。

3 その他

山田錦やヒノヒカリは7月下旬までが中干し期間となっています。長雨のため、中干しが思うように実施できない状態ではありますが、水尻を掘り下げたり溝切りを実施するなどして、入水・落水しやすい環境を作りましょう。

次回の調査予定日は、令和3年8月3日（火）です。 ＊お問合せ先＊ J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター TEL：078-981-5540 FAX：078-981-5817
--